

令和元年度第2回企業庁経営評価委員会議事概要

1 日 時

令和2年3月10日（火） 15:00～16:40

2 場 所

神戸市教育会館 404 会議室

3 議 事：令和2年度企業庁事業の目標値の設定について

(1) 水道用水供給事業・工業用水道事業

① 水道施設のリスク管理について

<委員>

- ・ 水道施設の洪水対策はどれぐらい進んでいるのか。

<事務局>

- ・ 企業庁が直営で行っている4つの浄水場（多田、三田、神出、船津）のうち、浸水の想定区域内にあるのは船津浄水場のみであるが、すでに浸水対策用のコンクリート擁壁を設置し、対応済みとなっている。

<委員>

- ・ 今年度の目標では危機管理対策の項目で管路更新率があったが、来年度は目標設定しないのか。

<事務局>

- ・ 管路更新率はその年における工事の実施有無に左右されることから、目標に相応しくないと判断し、来年度より目標から外すこととした。
- ・ 累積で把握できる目標として引き続き耐震適合管率を設定しているので、そちらで評価をお願いしたい。

② 県水申込水量と県水依存率について

<委員>

- ・ 計画給水量と申込予定水量の差について企業庁としてどのようにとらえているか。
- ・ 今後も計画給水量と申込予定水量の差は残っていくのか。それとも広域化の中で数字が変わってくるのか。

<事務局>

- ・ 計画給水量は、平成23年度に480,400 m³/日に見直したが、人口減少等に伴う水需要の減少から申込予定水量との差が生じている。
- ・ 経営効率化や重複投資の回避の観点から、県水への転換（垂直連携）を広域連携の一形態として推進している。
- ・ 人口減少に伴い水需要は減少するが、県水転換により、県水依存率は維持していき

たい。

③ 浄水場間連絡管の整備について

<委員>

- ・ 経営目標に浄水場間連絡管の整備によるリスク低減について盛り込めないのか。

<事務局>

- ・ 給水支障件数の目標設定において取組について記載することとする。

④ 新型コロナウイルスの影響について

<委員>

- ・ 工業用水の目標設定に関して新型コロナウイルスの影響は含んでいるのか。

<事務局>

- ・ 工業用水については契約水量に基づいた料金をいただいている。なお、契約率が低い加古川工業用水について増量等に向けて営業活動を行っており、新型コロナウイルス等景気の動向に左右される可能性はあるが、目標設定では加味していない。

(2) 地域整備事業・地域創生整備事業

① 景気等の影響について

<委員>

- ・ 事業の中で景気との相関が高いのはどれか。
- ・ 過去、リーマンショックの時など、分譲に影響はあったのか。

<事務局>

- ・ 分譲をどれだけ行うのかが一番大きな要素となるため、地域整備事業、また地域創生整備事業が景気の影響を受けやすい。
- ・ また、青野運動公苑の運営についても、新型コロナウイルス等の影響から大きな変動があると考えている。
- ・ リーマンショックの際、投資意欲は落ちたが、その後回復した。

<委員>

- ・ 分譲関係の目標設定に関しては、新型コロナウイルス等の影響を盛り込んでいないのか。

<事務局>

- ・ 新型コロナウイルス等の影響はあるが、目標値としては既にある総合経営計画どおり（R2年度末分譲進捗率90%）でいきたいと考えているため、影響を盛り込まずに目標設定している。
- ・ また、小野については今年分譲の3区画の事業予定者が決定し、新型コロナウイルスの動向に関わらず事業を行う予定と聞いている。
- ・ 残区画についても企業から問い合わせが来ており、売り切っていきたい。

② 播磨科学公園都市における住宅用地の分譲計画について

<委員>

- ・ 土地はたくさんあるのに分譲計画戸数を 154 戸と設定した理由は何か。

<事務局>

- ・ 計画が始まった時点では、立地企業従業員等の 7 割が都市内に住居を構えると想定していたが、実際は近隣市町から通勤する人が多い状況となった。
- ・ そのため、当初住宅地として計画していたところの一部のみを開発し、分譲できる状態にある 154 戸のうち 139 戸が売れたことから、来年度は残り 15 戸を売り切るよう努力する。
- ・ 15 戸を売り切った後は、民間の住宅メーカーと協議の上、残っている用地の活用について検討したい。

③ 計画人口の算出方法について

<委員>

- ・ 分譲計画における計画人口の算出方法は、単純に計画人数を計画戸数で割った数字なのか。
- ・ 単純な計算ではなく、基準となるような地域や年齢層があるのであれば、現状と照らし合わせて修正の必要もあるのではないか。

<事務局>

- ・ 一戸建ては人数を多めに、独身向けを含む集合住宅は人数を少なめにしており、単純な計算によるものではない。
- ・ これまで当初の計画どおり変更せずにやってきており、分譲も最終段階に近づいていることからこのままの数字としたいが、ご意見は今後の参考とさせていただきます。

④ 潮芦屋における高潮対策について

<委員>

- ・ 潮芦屋における高潮対策工事について、目標設定に盛り込んでアピールできないだろうか。

<事務局>

- ・ 既開発地区の分譲推進に係る説明において取組について記載することとする。

⑤ 潮芦屋の J ゾーンについて

<委員>

- ・ 潮芦屋の J ゾーンの分譲進捗状況はどうか。

<事務局>

- ・ 地元芦屋市と調整している。

(3)企業資産運用事業

① メガソーラーの目標設定について

<委員>

- ・ 単なる発電量だけでなく、兵庫県全体においてメガソーラーが環境面でどれだけ貢献しているのかといったことを目標設定に盛り込めないか。

<事務局>

- ・ 年間総発電量の目標設定において環境面の数値を記載することとする。